

日本ボンド磁石工業協会  
会長 原田 英樹



会員の皆様には日頃より並々ならぬご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。協会の現在最大の課題は各社とも海外生産が増加し、国内生産が縮小し、それに伴い国内で活躍する当協会を退会される会員が少なくない点です。協会では早くから国内生産ばかりでなく、海外生産も含め、統計数字を作成するよう進めて来ました。しかし国内生産が縮小すると当然管理者も縮小され、技術も、営業も海外で管理されるようになり、当協会にご出席いただける方がいなくなってしまう事が、退会される主な理由と理解しております。ボンド磁石を取り巻く新しい技術は現在も日本から重点的に発信され、決して諸外国に遅れを取ってはいません。しかし生産が安定し、標準化してしまった事業は、海外で行う方が収益的に得策であることに代わりはありません。最大の課題は正確な生産統計の作成です。原料の生産量、12月に実施するマーケットディスカッション、個々の企業の状況調査など、工夫を重ね、可能な限り正確な世界の生産統計を作成できるよう進めて参ります。

以上の課題を解決する一つの方法は、海外に当協会の分室を作り、海外の言葉で当協会と同じような仕事をする事です。海外で事業展開しておられる各社のご意向を伺い、ある時期に具体化したと考えております。

最近仕事の関係で、中国や韓国の先端技術に関係される研究者や技術者とお話しする機会が多くあります。驚くことはそれらの方々がすばらしい能力を持っておられ、日本の技術に負けないよう、

懸命に努力しておられる事です。ここぞと言う所には重点的に人を配置し、日本で古く開発した材料を再発掘し、ITなどの新しい分野の応用に成功しています。IT技術は投資金額が少なくてもソフト技術の活用で大きな効果を上げる事が出来ます。中国人も韓国人もソフトに関してはインド人と同じく、すばらしい感性を持っているように感じます。うかうかしていると日本の技術は負けてしまうような危機感を強く持ちます。中国も韓国も若い技術者が懸命に努力している姿は、日本の高校生や大学生と相当開きがあるように思えてなりません。日本が将来アジアの貧者にならないよう、教育や研究開発で適切な方策を進めるようお願いしたいと考えます。

当協会のタスクは(1)ボンド磁石の国内および世界の生産統計の作成、(2)ボンド磁石を取り巻く最先端技術の素早い紹介、(3)標準化の推進、の3点と心得ております。最近ではボンド磁石の技術を利用し、ソフトフェライト、鉄粉、その他の軟磁性材料をボンド化して効果的な応用が計られるようになってきております。この分野も含め当協会は発展させてゆきたいと考えております。従い「ボンド磁石協会」は「ボンド磁材協会」と改名する方向で進めようと考えております。磁材全てに上記のタスクを実施してゆきたく考えます。会員各位のご理解をいただくと共に、新たな会員の参加をお願いする次第です。

当協会は今後もスモーストオフィスで運営致します。多田専務理事の縦横の活躍を今後もご支援賜りたくお願い申し上げます。